

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

◆実施日 令和4年12月27日

◆評価確定日 令和5年3月10日

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月27日(13:30~14:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 菅原、貝森、木村、佐藤、小松 米沢、川口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	5人	2人	0人	11人

前回の改善計画
チーム全体で、本人・家族の望む暮らしを理解し情報共有する。サービス利用開始時の関わり方を重要視し、不安や混乱の中にいる登録者に対して職員間で連携を図り、訴えを汲み取り安心して利用できるような環境作りを構築していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
初回利用に係わる課題分析のためご家族、本人へ聴き取りを十分に行い、人物像や背景を理解し事前ミーティングにて情報を共有する。慣れない場所での緊張感を和らげる声かけや不安を取り除く関係作りを積極的に行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	5	2	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	6	1	1	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	6	2	2	1	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	5	2	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・利用開始前に計画作成担当者がアセスメントを行い、本人の出来る事や生活状況について聴き取りし課題を洗い出している。課題をミーティングで分析し職員間で情報を共有している。又、本人と関わる過程で何を望んでいるのか意向を確認している。サービスにストレスを抱えている方には柔軟に対応し通いから訪問サービスへ切り替えるなど継続して利用できる環境を作っている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・職員により、課題分析の解釈に相違があり熱量が違う。 困りごとを十分に受け止めているか、事業所の価値観やルールの型に当てはめていないか、家族様、本人とのサービス内容の認識に不一致が起きていないか密に時間を掛けて関りを持ってもらいたいと思う。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・利用開始前から利用に至るまでの情報共有は行えているが、環境の変化の中で不安を抱えている利用者のニーズどこまで対応できているか再確認する環境と双方向の関係性構築に時間を掛けて対応していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月27日(13:30~14:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 菅原、貝森、木村、佐藤、小松、米沢、川口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	2人	1人	11人

前回の改善計画	本人の目標やゴールに関しては、今後もモニタリングカンファレンスを活用しながら、全職員が周知した上で本人と関りを持てるように継続していく。また、関りの中で小さな変化に気付けるように「気づきの力」を養っていきたいと思う。
前回の改善計画に対する取組み結果	日々の支援の中で小さな変化を見逃さない様努める。モニタリングを行う上で、できる事を見出し常に目標に向けた支援を継続する

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	3	4	3	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	5	1	2	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	4	4	1	11
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	4	1	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・毎月、1回はケア会議を実施し、本人・家族の意向や目標について把握し支援についての再確認を行っている。日々の関りの中からヒントを見出し情報共有している。又、ミーティング以外でも職員からの気づきや感じたことをボトムアップしている。計画作成担当者はそれらを基にプランの修正を行っている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・変化に気付く力が不十分と感じている職員もいる。 ニーズが優先となってしまう「～したい」ことがわかっても人間的な課題や職員の経験、能力の差から実際に行動に移すのが困難な事もある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・アセスメントを基に具体的な目標設定を行う。ケアプランの内容を全職員が認識し「～したい」に結び付く支援ができるよう、利用者の細かな思いや言動を記録し情報共有していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 12月 27日 (13:30～ 14:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 菅原、貝森、木村、佐藤、小松、米沢、川口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	4人	2人	2人	11人

前回の改善計画	その方を知る為、その方の望む暮らしを理解する為、「以前の暮らし方」を知る必要があり重要な点である事を再認識し、職員間での個人差を無くし関りを保てるように努力する。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎日、目にする日誌や記録表に特徴や性格を記載する事により人間性や特徴を把握しやすい仕掛けを作っていく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	3	5	2	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	5	2	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	6	2	1	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	5	2	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	6	1	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・介護技術委員会(食事・排泄・入浴委員会)を立ち上げ、毎月委員会を開催し現況確認と見直しを実施し、個々に応じたケアの提供に努めている。 馴染みの店や嗜好品確認、趣味など利用者ごとに把握する事により生活上のヒントとして捉えている。又、必要に応じて地域包括支援センターへの相談等、連携を行っている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・「以前の暮らし方」については、課題分析票にこれまでの暮らし方について記載はしているものの、職員の理解力に差がある。又、情報の内容が変わった時に全体に行きわたらず一部の職員にしか周知できていない時もある。体調面だけではなく、精神面での変化の対応力が
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・ミーティング時の開催時間や内容を精査し、密のある話し合いの場を作る。情報共有という名の雑談の場とならない様必要な事柄を要点をまとめ共有していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 12月 30 (13:30 ~ 14:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 高井、虻川、佐藤、武田、畠澤、小松、川口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	4人	3人	11人

前回の改善計画
包括支援センターへの積極的な働きかけを実行し、民生委員の把握や地域資源の情報を入手する。ご家族や地域との関係性を維持し、事業所での関りも持ちながら充実した生活が送れるように努めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
困難事例等は積極的に包括支援センターへ相談している。認知症の進行により判断能力の低下が見られる方へ日常生活自立支援事業の紹介、手続きを行っている。民生委員との連携も行いサービス利用日以外の見守りを協力いただいている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	3	5	0	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	5	1	3	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	1	6	2	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	2	2	5	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・生活歴、馴染みの店について概ね把握すると共に、関りの中で関係性が良好に維持されているか適時確認している。家族や地域との関係が切れない様今まで関わってきた人や暮らしが継続できるよう支援している。支援の一つとして法人の地域貢献プロジェクトにて地区の一人暮らしや高齢者世帯へのボランティアに参加している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・事業所だけでは汲み取れない課題があると思われる。介入を拒むご利用者もおおり本人の地域での生きがい等を把握できていない部分もある。近隣の方の認知症の人の理解不足等、厳しい現実もあると思われるが細かな情報でも記録していく。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・利用者を取り巻く環境の把握に努め、地域包括支援センター、民生委員の方と情報共有を密に行って行く。健在化した課題に対応できるサービスや自立支援事業等の公的サービスを活用し本人と地域との関係性が継続できるよう必要に応じて繋げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 12月 30 (13:30 ~ 14:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 高井、虻川、佐藤、武田、畠澤、小松、川口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	4人	1人	2人	11人

前回の改善計画
地域との関わりに関しては、今後の感染症の動向をみながら再開できるようにしていく。 長期的な泊まりが必要となった場合は、他事業所との連携を図りグループホームや特養へのスムーズな入所に移行できるように努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
法人内のサービス（配食弁当サービス）を活用し利用日以外の見守りや安否確認ができています。地域の資源を活用し利用者のニーズに即した買い物代行等の支援も検討していきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	4	2	2	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	5	1	1	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	5	2	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	6	2	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・本人を支える地域資源（配食弁当の利用）を活用している。・通い、訪問、宿泊等臨機応変に提供され、急な泊まりに対しても柔軟に応じている。家族様のレスパイトケアを考慮し事業所からの宿泊提案も行っている。・コロナ禍の中で感染対応を行いながら地域に出向く事もできている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・長期泊まりサービスの偏りにより、必要時に希望したサービスを提供できていない可能性もある。レスパイトケアの提案やスケジュールに余裕を持って調整していく。・地域の資源を積極的に活用できるよう、職員間の勉強会が必要となる。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・行政が行っている公的サービスや事業所以外で活用できるサービスの理解を深める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 1 月 4 日 (13 : 30~14 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 菅原、高井、貝森、木村、武田、小松、米沢、川口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	3 人	2 人	5 人	11 人

前回の改善計画
今後の新型コロナウイルス感染の動向によるが、感染が落ち着いた際は、地域のイベントに積極的に参加して行く事や、事業所でボランティアや地域住民の方々を積極的に受け入れる事で、地域に開けた事業所作りに取り組んでいく。

前回の改善計画に対する取組み結果
コロナ対策により各イベント等を自粛してきた。運営推進会議も書面会議を継続しており文書での返答を頂いている。地域の方や家族を招いたイベントの開催は情勢を見ながらとなるがボランティア活動はできる範囲で行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	1	3	7	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	1	9	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	1	0	10	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	1	0	11	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・医療機関、訪問看護、福祉用具事業者との連絡を取りながら情報収集、共有に努めている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・運営推進会議は文書会議となっており文書を交わすことで意見を頂いている。オンラインを活用できるよう準備していきたい。
・コロナ禍の影響で、様々な地域活動が制限されている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・情勢を鑑みながら地域の行事に参加していく。町内会との交流やボランティア活動に参加し有事の際の連携が図れるよう取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 1 月 4 日 (13 : 30~14 : 30)

7. 運営

メンバー 菅原、高井、貝森、木村、武田、小松、米沢、川口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	4 人	2 人	11 人

前回の改善計画	「ご意見箱」の設置継続や、利用者・家族からの意見や要望に今後も可能な限り応えていくことで、地域に必要とされる事業所を構築していく。運営推進会議も、オンライン会議等の検討が今後必要になってくると思われる。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者や家族様の要望をできる限り受け止め、より良い支援になるよう検討し、支援に繋げている。地域活動はコロナ対策のためあまり行えていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	7	2	1	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	3	0	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	5	2	4	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	2	3	5	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・利用者、家族様からの意見や苦情は、随時報告し共有、改善に向けて検討している。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・事業所玄関へ「ご意見箱」を設置しているが、前期同様に意見や苦情等は確認できていない。コロナ禍で地域と協働した取り組みが限られており活動が困難だった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ・運営推進会議での書面による返答や利用者、家族様からの要望等を職員に周知し、職員全員が地域の困り事に気づき一緒に考え、地域に開かれた施設運営ができるようにしていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 1月 6日 (13:30 ~14:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 菅原、高井、佐藤、畠澤、小松、米沢、川口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	4人	3人	2人	11人

前回の改善計画	職場内研修では、研修内容も毎年見直し多方面から情報を入手して、各職員が積極的に参加できる研修会を開催していく。職場外研修も、リモート研修を取り入れ多職種が参加していき、スキルアップを図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	職場内研修は委員会が中心となり資料を精査し最新の情報を盛り込みながら行っている。法人主催の研修へも積極的に参加している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	6	2	0	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	4	3	4	11
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	1	9	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	6		3	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・施設内研修は年間計画に沿って実施できている。参加できなかった職員へも資料を配布し、内容が伝わるよう要点を伝達し質疑、応答を行っている。事故委員会を毎月開催し事故の検証を行いながらリスクマネジメントに取り組んでいる。日々のヒヤリや些細な気づきをミーティングで共有している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・施設外研修が行えていない。 ・地域連絡会が確立されておらず、参加できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・施設外研修の参加 ・危険予知の認識を高め未然に事故が防げるよう気づきのトレーニングを強化する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 1月 6日 (13:30 ~14:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 菅原、高井、佐藤、畠澤、小松、米沢、川口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	6人	2人	0人	11人

前回の改善計画
各委員会、研修会を通じて職員の意識や知識の向上が今後も必要である。登録者一人ひとりの置かれている環境や立場を理解し、日々の支援にあたるように今後も継続して取り組む必要がある。

前回の改善計画に対する取組み結果
職員間の情報共有時等、利用者の耳に入らない様に声の大きさや会話する場所の配慮を行っている。知らず知らずのうちに配慮が欠けている場面も見られる事がり都度、職員間の確認を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	6	0	0	11
②	虐待は行われていない	7	4	0	0	11
③	プライバシーが守られている	4	7	0	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	6	2	2	11
⑤	適正な個人情報の管理ができています	4	6	1	0	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・定期的な研修会を開催し虐待に繋がる支援がない様に職員同士注意しながら業務にあたっている。スピーチロック (言葉の拘束) を使用しないよう啓発活動を行い尊厳に気を付けている。
・個人情報については本人、家族よりの同意書に基づき写真の掲載を行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員間の伝達等、フロア内にて大きな声で話をする事がある。フロア内の会話や情報が利用者に聞こえている事がある。職員も疲労しているとき等配慮に欠けている場面もある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・前回の計画を継続し、利用者のプライバシーや尊厳が守られるよう努めると共に、我々の立ち振る舞いを常に振り返る機会を設ける。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 比内ふくし会	代表者	理事長 佐藤 剛	法人・ 事業所 の特徴	社会福祉法人比内ふくし会は、特養・ショートステイ・デイサービス・グループホーム・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所等、幅広く事業を展開しており、心のこもった介護や看護、機能訓練、配食サービス等の支援を提供するとともに、共に助け合い、励まし合っていく人間関係を大切にしながら、利用される方々のことを常に中心に考える事業の運営に心掛けています。 みずきの家では、住み慣れた地域で生活し続けられるよう登録者やご家族の思いに沿ったサービスの提供に努めています。
事業所名	みずきの家	管理者	川口 正行		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	8人

※出席者について、新型コロナウイルス感染予防の観点から、対面会議は中止し文書での意見交換・評価となっている。

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 今後もコロナ禍を前提とした、事業運営を考案していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度もコロナ禍での事業運営となったが、感染対策を取りながら事業所内での活動や職員の研修・委員会を開催し、サービスの質の向上に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価資料の内容からは、問題ない様に思われます。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルスに対する基本対処方針が緩和されつつあるが、高齢者施設としての対策を継続しつつ QOL 向上に向けての活動を増やしていきたい。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 感染予防対策として、玄関先への体表温度検知カメラ・アルコールの設置・喚起の実施等、引き続き環境整備が必須となる。 観葉植物や季節の花々を置き、癒しの空間作りを継続していく。 施設の敷地内で工事が行われており、大型車の出入りが多かった。ご家族へも注意喚起が必要であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団クラスターを発生させない様、職員一丸となり感染対策を講じてきた。個別の感染は見られたが職員一人一人の意識が高まり、安定したサービスが提供できたと思われる。 工事車両の注意喚起を行う事で安全にご家族の往来ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議に添付した資料(写真)より、事業所内は居心地の良い空間となっていると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> 第2の我が家をテーマとした、安心できる空間、居心地のいい空間を模索し事業所内のレイアウトや玄関外観周りの清掃を徹底していく。 視覚、嗅覚、聴覚等、味覚、触覚の5感に訴える環境を目指す。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、包括との情報共有や連携体制を保ち、地域で困っている方や相談のある方へ積極的に関わっていき、地域に必要とされる事業所を展開していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も新型コロナウイルス感染予防の観点から、地域との関わり(行事等)はほぼ中止となった。ボランティアの受け入れも中止している。 困難事例の相談やアドバイス、近隣住民からの意見交換を積極的に行った。又、民生委員へ 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍ではあるが、事業所内での行事を頑張っていると思われる。 事業所からの民生委員への働き掛けや、困難事例を地域包括支援センターに相談する等、外部への働き掛けがわかる。地域の民生委員と連携し一人暮らし 	<ul style="list-style-type: none"> マスク着用等の感染対策を継続しながら、地域行事への参加を進めていく。 地域包括支援センターとの関りを強化し地域密着型事業所として地域に根差した支援やインフォーマルサービスを活用した見守りを活用していく。

		の見守り協力等、資源を活用した支援ができています。	の方への見守り等どんどんすすめてほしい。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、地域に出向いた活動を行い、地域住民との交流を図る他、事業所を知ってもらえる場も作っていく。 包括主催の会議等がある際は情報を頂き、参加の検討をしていくことで地域での現状や課題を把握していく。 今後も職員の積極的なボランティア活動に努めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に出向いた活動は感染対策から自粛しているが感染予防を講じて花見や紅葉ドライブへ出掛け、地域との繋がりを維持している。 法人で取り組んでいるボランティア活動（除雪、年末配食、年末大掃除等）へ参加し、利用者以外の方とも関わりを持った。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で外出が難しい中、きりやんぼ会や焼いも会等、できる事を模索し支援に繋げている事が確認できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の家族との交流を積極的に行い、行事の参加や外出支援に繋げていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 地域で困っている方の情報を、包括以外からも取り入れて行けるように、運営推進会議で発信していく。今後もコロナの影響で、会議ではなく文書でのやり取りとなった場合は、資料配布時に情報交換できるように努めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、運営推進会議を中止し文書での書面会議としてきた。（利用状況や地域活動等）書面にて意見を頂く形で意見交換している。 事業所内での内部研修は実施し、研修資料や研修の結果についても報告した。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も書面でのやり取りとなったが、取組等を文書から把握することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染症が5類へ引き下げられる事から、状況を考慮しつつ集合会議、対面会議を開催していきたい。文書会議を織り交ぜながら引き続き委員との情報交流を行って行く。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議の場で、訓練内容についての報告を行い理解を深め頂く。今後もコロナの影響で、会議ではなく文書でのやり取りとなった場合は、活動内容を資料に添付する事で周知を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 同敷地内にある特養やグループホームとの合同訓練を実施し、近隣住民へも参加して頂き協力体制が確認できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所での訓練の実施が不明である。 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の訓練様子や業務継続計画（BCP）について、運営推進会議の場で報告を行う。 定期的な机上訓練、備蓄品の確認等の意見交換、非常食の試食等も行っていきたい。

